

お客様の印刷機械が故障・事故なく安定稼働できるように

## 地震発生時におけるメンテナンスのポイント

地震や水害などの広範囲な災害が発生した場合には、通信が集中する為、弊社(KOMORI)側からの電話連絡が非常に困難となります。お客様側からもご連絡をお願い申し上げます。

### I. 地震発生時の注意点

1. 地震が発生した時は、ただちに急停止又は停止ボタンを押して、印刷機械を止めてください。
2. 身の安全を考えて、安全な場所に避難してください。

### II. 「KOMORI緊急災害対策本部」への連絡方法の優先順序

- 1番 …… 緑・グレーの公衆電話が比較的使用できるケースが高いといわれております。
- 2番 …… 一般の常設電話
- 3番 …… 携帯電話（携帯電話は一番掛かり難いといわれております。被災地域を離れた場所、又は時間をずらしてかけて下さい。）

広域災害が発生した場合には、交通網の被災や交通規制等により、サービスマンの到着が遅れる場合があります。サービスマンの到着までは下記の手順に従って復旧対策を行い、サービスマンの到着後は指示に従ってください。電源はサービスマンの確認と立会いの上で投入して下さい。

### III. 地震後印刷開始時の注意点

1. 印刷機械の横ズレ、水平ライナーが外れていないか確認してください。(右図参照 例:SPICA426P)

◎ 横ズレ確認マークをライナー(4角)に、事前に右写真のようにつけておくことをお勧めします。(テープでもペイントでも可)ズレたかどうかの識別が容易にできます。

注意

ライナーよりズレていたり、落ちていたりする場合は、下記小森サービスにご連絡いただき、弊社サービスマンの訪問をお待ちください。

2. 印刷機械上に落下物、粉じん等がないか確認及び清掃してください。

注意

機械外観やカバー等に凹み・損傷がみられる場合は、下記小森サービスにご連絡いただき、弊社サービスマンの訪問をお待ちください。

3. 電気ケーブル等に落下物による損傷、断線などないか確認してください。

注意

ケーブルに損傷、断線が確認された場合は、下記小森サービスにご連絡いただき、弊社サービスマンの訪問をお待ちください。

4. 印刷機械を手廻しハンドルで廻し(版胴・ゴム胴で2回転以上)、機械内に障害物がないか確認してください。

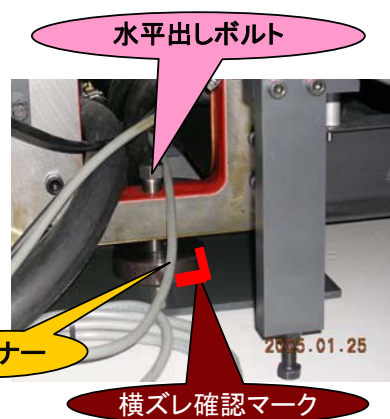
注意

主モーターブレーキ解除ハンドル装着機械は、解除してください。  
ハンドル解除をしないとブレーキが作動しており、手廻しはできません。

※手回しをすることにより、ギアなどに潤滑油が行き渡り、機械へのダメージが軽減されます。  
手回しで回せない場合には、インキローラー上のインキが乾いて固着していることが考えられますので、ローラーを取り外し、ローラー上のインキを洗浄してください。

5. 上記1～4の項目をクリアーの上で、寸動で数回スムーズに廻るか確認し、低速運転して主モーターの電流値(アンペア)異常がないか確認後、高速運転に入れてください。再び電流値を確認してください。正常に回転することを確認した後、初めて印刷を開始してください。回転中の異音・振動・異臭・発熱などに注意を払ってください。

\* 詳細または不明な点がございましたら、下記まで問い合わせ願います。



株式会社小森コーポレーション

テクノサービスセンター

東京・本社窓口

**03-3624-7166**